

# 【事業名：若年層向け生活習慣病予防事業】

北関東しんきん健康保険組合

## 背景・課題

- ・40歳未満健診結果分析よりメタボ基準該当者が一定数いる。（特定保健指導該当喫煙者をハイリスク喫煙者）
- ・喫煙率は、40歳以上よりも40歳未満の喫煙率の方が高い。（特定保健指導該当のリスクに）
- ・毎年度特定保健指導対象者割合が減っていない。（新たな40歳で対象となる人が多い）
- ・40歳以上の保健事業が多かったが、40歳未満のリスク保有者にも同様に実施する必要がある。

## 事業実施の目的

- ・若年層向けに特定保健指導と禁煙事業を行い、将来の**特定保健指導対象者率の減少**と健康経営に向けた本人のQOLの向上と労働生産性の向上を図る。
- ・**若年層の方が**40歳以上の保健指導対象者よりもメタボからの脱出や数値改善、禁煙**効果が高い**のか検証したい。（若いうちからの対策が効果的か）
- ・総合組合や中小規模組合の若年層を対象とした保健事業の標準モデルの構築。

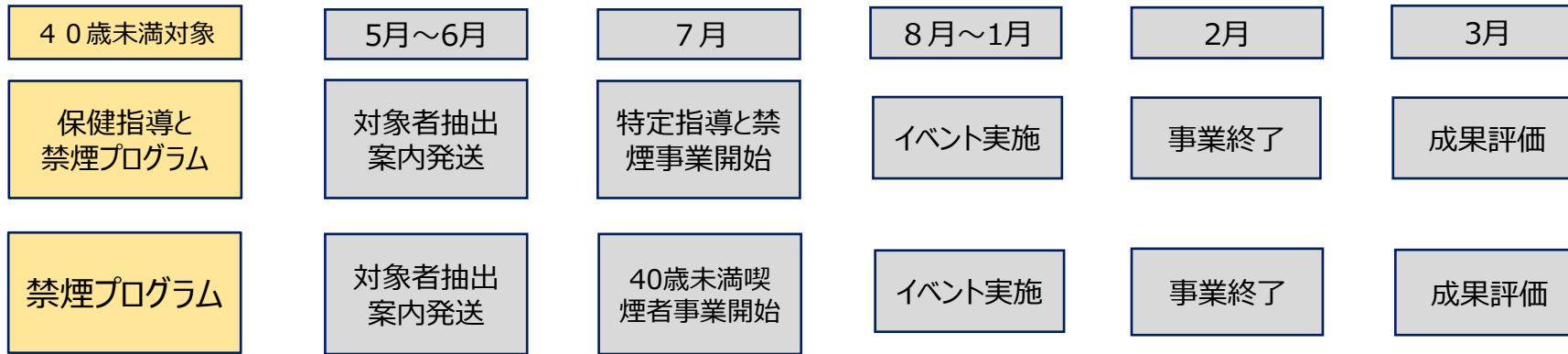
## 成果指標

- ①積極的支援対象者は、腹囲2cm・体重2kg減、または、喫煙者は禁煙成功を成果とする。
- ②禁煙プログラム対象者は、禁煙成功を成果とする。  
上記の成果割合により成果報酬とする。

※現在報告されている禁煙による医療費の削減効果      40歳代：男性140.9万円、女性89.5万円    60歳代：男性121.4万円、女性62.8万円

※厚生労働省平成25年度「発がんリスクの低減に資する効果的な禁煙推進のための環境整備と支援方策の開発ならびに普及のための制度化に関する研究」報告書

# プログラムの流れ（スケジュール）



特定保健指導後、禁煙プログラム後のアンケートにより評価。  
40歳以上の特定保健指導対象者との効果を検証。

## 事業内容

- ①若年層へICT利用特定保健指導の実施
  - 若年層向けに特化したチラシやアプリにより特定保健指導を実施する。喫煙者には②の禁煙プログラムも同時実施する。
- ②若年層喫煙者全員へ2種類の禁煙プログラムから実施（選択）
  - 問診より対象者全員へ個別にてプログラム実施通知の送付。
  - 若年層向け事業として、保健師が「LINE」で支援し、OTC医薬品を使用した禁煙プログラムを実施する。
  - 禁煙ガムを使用するのライトな2週間プログラムを実施する。

